



Roots9事前交流会に、 80名が参加！

横須賀市民九条の会青年部が5月20日に予定している野外音楽祭“Roots9”では、4月8日、文化会館中ホールにシンガーソングライターの横井久美子さんをお招きして事前交流会を開催し、80名が参加しました。横井さんは、厳しい情勢の中でも平和を訴え続けた3人の詩人を涙ながらに紹介して歌い、大きな感動を呼び起こしました。参加者はグループに分かれて交流しましたが、初めて参加された方もいらっしゃいました。2千人の市民を集めるのは大変なことです。当日は1時頃からフリマを行いながら音楽祭を開催し、7時からピースキャンドルを行います。横井久美子さんが登場するのは、ピースキャンドルの直前だそうです。事前交流会には、横三労連から事務局長と吉富事務局次長が参加しました。

浚渫協議差し止めを求め、 横須賀市を提訴

原子力空母配備をめくり、漁業者ら十人が4/6, 12号バース周辺海域の浚渫(しゅんせつ)工事に関する港湾法協議の差し止めを求める行政訴訟を横浜地裁に起こし、同時に、仮の差し止め決定も申し立てました。訴えたのは、漁業者のほか、「ヨコスカ平和船団」や、釣り愛好家サークルのメンバーです。原告弁護団の呉東正彦弁護士は「差し止め訴訟の結果を待っていたのでは、その間に工事が終わって原子力空母が配備されてしまう。市がしゅんせつを許可する前に仮の差し止め決定を勝ち取りたい」と強調しました。バース周辺海域の約三十ヘクタールを原子力空母用に約二メートル掘り下げる浚渫工事では、国が港湾法に基づく協議書を港湾管理者の市に提出しており、横須賀市は26日までに協議に応じる見通しです。

うわまち病院労組が、 新人歓迎会を開催！

4月7日(土)、横須賀市立うわまち病院労働組合は、病院前のフアンボアーズで新人歓迎会を開催し、新人6名が参加しました。参加したのは、この春就職した看護職員です。残念ながら、その場での加盟には至りませんでした。労働組合への率直な質問が次つぎに出され、なごやかな雰囲気を楽しみひと時を過ごしました。新人たちは特に、医療現場の情勢や、横須賀市内の他病院の労働組合の状況などに、感心を示していました。

うわまち病院労組では、国立横須賀病院時代に、毎年新人歓迎会を開催し、参加した人がすべて組合に入る事も少なくなかったそうです。組合では今後、医療技術職など、今回声をかけなかった新人さんたちを対象に、また歓迎会を開催しようと話しています。またバーベキューなどの交流会も開催する予定です。歓迎会には、横三労連より事務局長と山本裕幹事が参加しました。

県知事選で、かもい洋子さんが大健闘！

4月8日投開票で行われた神奈川県知事選挙では、民主県政をつくる会の候補、かもい洋子さんが、56万票余を獲得し、前回の知事選候補の票を、ほぼ3倍化しました。座間、相模原、川崎では、自民党推薦の杉野氏の得票をも上回っています。

地域内においても、かもいさんは横須賀で2万9千余、三浦で3千余を得票し、いずれも推薦政党である日本共産党の、国政選挙での得票を大きく上回りました。原子力空母母港化反対の県議の落選もありましたが、確信を持つことが大事です。

